

国語の授業を進めるにあたって（3年生）

◇国語の授業で大切にしてほしいこと

国語の授業で大切にしていることは、様々なことに興味をもち、一生懸命取り組むことです。国語は全ての教科の基礎を担う、大切な教科です。言葉は物の名前だけでなく、様々な感覚や感情など抽象的なものもまた表すことができます。五感の全てを使って、楽しみながら力をつけていきましょう！

◇授業の持ち物

教科書、ノート（大学ノート）、国語便覧「新・国語の便覧」、ワーク「よくわかる国語の学習」、五回書き込み式漢字練習ノート、辞書、筆記用具、プリントファイル

◇授業の進め方

①発言の仕方

- ・必ず手を挙げて、当たってから発言をしましょう。
- ・はっきりとした聞き取りやすい声で発言しましょう。（普段の発表でもがんばっている人は、本番に強い！）
- ・美しい言葉づかいを心がけましょう。（中学生として身につけましょう！）

②ノートの書き方

- ・赤や黄で黒板に書かれている部分は色を使ってノートに写しましょう。（重要ポイントに色を使っています）
 - ・いつノートのチェックが入ってもいいように、美しい文字で書きましょう！
 - ・ノートを使用する場合、必ず日付、学習する単元の題名を書きましょう。（同じ単元を何時間か続ける場合、前回書いた部分に続けて書き、題名を省いてもかまいません）
- ※ ノートは横書きの大学ノート（皆さんが普段よく見るノート）でかまいません。横書きのものを上下開きに直し、縦書きにして使用します。
- ※ノートの表紙に学年・組・番号・氏名を記入し、どの先生の授業ノートかも書いておきましょう。

③教科書には・・・

- ・重要なかしょに必ず線を引きましょう。
- ・読みのわからなかった漢字には、音読の際必ずふりがなをふりましょう。
- ・意味がわからなかった単語には丸を付け、辞書で積極的に調べましょう。

◇学習上の注意

- ①授業に必要なものは忘れないで下さい。(忘れたからできません、は学習の遅れにつながります。時間の損失です！)
- ②板書は勿論、口頭での解説や他の人の発言なども必要に応じてメモしておきましょう。
- ③提出期限は守りましょう。(社会に出るために必要な心構えです。)

◇家庭学習の進め方

- ①音読や黙読を繰り返し行い、文章の内容を把握しましょう。
- ②学習したことは、ノートやプリント、ワークを用いて復習しましょう。
- ③普段から漢字を使って書きましょう。(繰り返すことで、忘れなくなります。)
- ④文章を読むときには、重要個所に線を引きながら読みましょう。(読解力の向上につながります。)

◇1年間の学習内容

月	単元と教材	月	単元と教材
4	「世界は美しいと」 「作られた「物語」を超えて」	10	「人工知能との未来」 「人間と人工知能と創造性」
5	「文法」 「学びて時に之を習う」 「握手」	11	「古典名句・名言」 「文学史」 「温かいスープ」
6	「俳句の可能性」 「俳句を味わう」 「和歌の世界」	12	「故郷」
7	「古今和歌集・仮名序」 「君待つと一万葉・古今・新古今」	1	「高校入試対策」
9	「挨拶」 「文法」 「誰かの代わりに」	2	
		3	

◇評価材料

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査、ワークシート、発表、発言 など	定期考査、ワークシート、発表、発言 など	ワークシート、発表、発言 など